

令和3年5月29日

作成：風早北部地域ふるさと協議会

防犯防災部

第1回防災活動に関する意見交換会・議事録

- ◆ 開催日時：令和3年5月22日(土) 午前10時～午前11時45分
- ◆ 会 場：沼南近隣センター2階 学習室1・2
- ◆ 出席団体（○数字は複数名参加）：大井区・井堀内町会②※・追花町会・柏東パークホームズ管理組合・沼南エリカマンション管理組合・中郷町会・中の橋町会・舟戸町会・大島田区・塚崎区・塚崎二丁目自治会②※・塚崎三丁目自治会・大津ヶ丘二丁目町会・大津ヶ丘四丁目町会・大津ヶ丘第一住宅管理組合・同第三住宅管理組合・プロムナード大津ヶ丘管理組合・手賀の杜自治会、大津ヶ丘中学校 及び 大津ヶ丘第一小学校 以上 20 団体／22 名
オブザーバー参加：柏市地域支援課・柏市沼南近隣センターから2名
※井堀内町会は女性懇談会枠、塚崎二丁目自治会は事務局枠での＋1 名参加
(各団体からの出席者名は別途当部事務局で管理しています)

- ◆ 会長ご挨拶

会議冒頭で、牧野風早北部地域ふるさと協議会新会長から挨拶を頂戴した。発言内容は以下の通り。

当会では8年前に防災活動に関するアンケートを実施し、消防法に定める防火訓練とは別に自然災害発生時の防災を目的にした訓練の実施有無を調査した。それが芳しくない(多くの団体で未実施)結果であったことを受け、毎月1回の防災意見交換会議を実施、更に7年前から地域一斉防災訓練を行い、一昨年度までに毎年1回訓練を行ってきた(昨年度は感染症拡大の影響で地域一斉訓練は未実施)。

以来続く本会議では、大災害発生時に住民の命を守るための取組みを各団体で進めて頂けるよう、意見や情報の交換を行うことを主な目的としている。当地域は柏市登録の31 団体（大井区10 町会を含む）と非登録団体（UR 大津ヶ丘団地・塚崎市営団地・コスモ柏東マンションなど）で構成するが、活動を継続的に行っている団体は決して多くない。一方、災害時に活躍が期待される女性住民に着目し、一昨年度から女性防災活動懇談会を立ち上げ、今期も継続した活動を同会座長以下10 名程度のメンバーにお願いし実施し

ていく（今後も有志メンバーは募っていきたい）。

これまでの防災活動を通じての所感として、大規模災害発災時に誰が避難所を取り仕切るかが課題となっている。発災直後は市教育委員会から指名された避難所管理担当者に委ねられるが、その後は、施設管理者である学校側と地域住民の手に任せられる。学校側の最優先事項は学童や生徒の安全と学校教育の継続であり、その分避難所運営は地域住民、即ち今期であれば、本日で参集の皆さんが担い手となる。災害時にこの風早北部地域の災害対策本部は、沼南近隣センター(本部長は同所長)に開設され運営される。皆さん方(各団体)は災害有事の際、同本部と連絡を取り合うことになる。

この一年間の防犯防災活動を通じ、地域の安全、住民の安心に少しでも寄与して頂くようお願い申し上げます。

◆ 協議内容（詳細は別添の会議配付資料を参照）

(1) 当地域を取り巻く情勢報告（部長からの発言詳細は会議配付資料巻末のメモを参照）

冒頭の防犯防災部長あいさつで、政府公表の2020年版地震動予測値の公表、改正災害対策基本法（避難レベルの修正）につき紹介。

地震に関しては断層地震・大規模火山噴火の影響・台風直撃の影響を想定しておくことが必要。避難通報表現も5月20日から変更された。

コロナ感染症拡大下での防災対応が地域防災の大きな課題である一方、災害はコロナ拡大の有無に関係なく起きることは避けられない事実であり、こうした逆境下で出来る防災活動を考えるのが今期の大きなテーマである。大規模災害発生時の地域防災のキーポイントが「避難スイッチの発動」である【配付資料該当ページ「2～10」（以下、同様）】。目印の設置という物理的対策、避難を呼びかける体制の構築(地域防災担当者や班長の役割の明示)といったソフト面の対策強化が推奨される一方、こうした取り組みを阻害する要因の一つが、我々住民に潜む「正常性(あるいは平常性)のバイアス」である【配付資料「11～13」】。このバイアス効果をいかに地域全体で払しょくするかがコロナ感染症拡大下での課題である。

(2) 令和2年度柏市に提出した防災関係要望事項と柏市からの回答状況

昨年12月24日付で当会から提出したコロナ禍でも防災関係の秋山市長宛要望書に対する柏市(防災安全課)からの中間回答を紹介（ほぼ「現状の対応を説明すること」に留まっている【配付資料「28～32」】）。→当会

からは今後更なる柏市との交渉の必要（＝当地域住民と柏市との防災対策に関する認識に大きな差異を認めざるを得ないとの評価に立ったうえで今後の対応を進める必要）がある。

風早北部地域の指定避難場所や避難所の避難者収容力・備蓄物資の実情、地域団体での最近の防災活動の現状を説明【配付資料「25～27」】し、以上から、上記の市行政との認識のギャップを含めた地域が抱える課題【配付資料「34」】を提起した。

(3) 風早北部地域災害対策本部長からの災害発生時の防災体制等の紹介

大規模災害時は地域災害対策本部が沼南近隣センターに開設され、また大規模風水害の発生を前に自主避難所となる当沼南近隣センターの防災体制につき、その運営の中心となる同センター所長から、一昨年秋の開設事例を中心に説明が行われた【配付資料の巻末参照】。

(4) 今年度防犯防災部活動計画の報告

過日当会総会（書面決議）で承認された今期の防犯防災活動計画につき、配付資料内容に沿って紹介【配付資料「24」】した。行政や地域内の誰かが自分たちを助けてくれるとの考えが大きいと大規模災害発生時には自分や同居家族の命や財産が容易に侵される可能性が高いことから、未然に自分たちで防御することの重要性を説明、そのための自助の推奨や地域での防災活動を毎年開催することの重要性を案内し、具体的な取り組み例示を以下の(5)の内容のとおり説明した。

なお、各団体における災害時の役員や班長の役割が引継ぎ事項として整備されているかどうかの確認を当部事務局からヒアリングを行った結果は以下のとおり。

整備している団体：大井区井堀内町会・同区追花町会・同区沼南エリカマンション管理組合・同区中の橋町会・塚崎区・塚崎二丁目自治会・大津ヶ丘第一住宅管理組合・手賀の杜自治会（会議欠席団体については不明）

(5) 今年度防災活動の推奨内容と実施検討の要請

会議配付資料の「地域の防災活動」の内容に沿って、防災活動の5つの例※を紹介し、今期の防災活動の実施を呼びかけた【配付資料「33～65」】。今期の活動実施如何で、将来の地域防災活動に大きな影響を与えること（活動が停滞する、なくなる、担い手もいなくなる可能性）にも触れた。

※5つの例：シェイクアウト訓練・安否確認訓練・住民への自助(備蓄品や緊急持出品の用意、自家用車や簡易テントでの避難の準備)の呼び掛け・防災クイズの実施・活動を通じた避難スイッチ発動の実現・避難スイッチを入れる住民発掘・ルール化の検討。←これらの例示を含め、各団体での今期の防災活動実施の可否を次回会合（6月24日）までに検討頂くこととなった。

〈今回の会議ご欠席団体も同様に、今期の防災活動の実施につき是非ご検討をお願いします。〉

(6) 今期の住民向け広報予定

今期は計4回（6月・9月・12月・来年3月を予定）の「広報しようなん」発行に、住民向け自助の取組みとして推奨する防災情報を盛り込み地域住民の防災意識向上を目指すことを提案、同紙面の配付部数と配布ご担当者の登録を各団体をお願いした（欠席団体には本件を別途文書で今後通知することとした）。今期第一回目の該ニュースは「配付資料「68～70」を参照されたい。これをホームページに掲載し、あわせて次回の広報しようなんに掲載、地域住民に配布を予定している。

(7) 防犯防災部と各団体との連絡手段・当面の日程の提案

配付資料に基づく、今後の連絡体制や当面の日程を案内、各団体の対応をお願いした【配付資料「73～74」】。更に、当部からの配布資料の提供方法につき、席上配付した一覧表の「データ提供」「紙面提供」のいずれかとなることを説明し、その方法に変更要望があれば、当部担当事務局へ連絡をするようお願いした。

なお、次回は6月26日に今期各団体での防災活動実施の有無、地域内学校と住民の連携・協力の方法についても、時間を割いて検討していきたいとの意向が事務局から示された。加えて、国土交通省も推奨する「防災タイムライン」の策定につき、これを今期後半の会議では学習し、各団体でその具体化が検討されるような事務局の要望が示された。詳しくは今後の本会合にて議題として取り組んでいく予定である。

次回会議の通知は5月30日以降を予定。携帯メール・メールアドレス・ラインメール通信可能な方にはデータでの配信を案内し、それ以外の方は事前案内をしないので5月30日以降に沼南近隣センター1階窓口

にて関係資料を受け取り頂く。

(8) その他

- 柏市地域協働を考える会が中心となり感染症禍での地域活動のガイドライン」が作成、公表されている【配付資料「66～67」】。本件編纂を担当した当部副部長から解説された。本資料は資料掲載のQRコードから柏市HPにアクセスしダウンロードが可能。あるいは資料記載のコピー要望書にて申し込まれたい旨案内された。
- 柏市地域支援課主管の防犯灯関連補助金申請期間が6月30日までである。コロナ禍で不審者出現などの犯罪も横行していることでは、夜間や早朝の地域防犯対策として、防犯灯の新設も重要な取り組みであり、住民の声を拾っての活動をお願いしたい。参考として昨年、一昨年に当部から発信した住民向けニュースをお知らせする【配付資料「75～78」】。今期の配信は予定していない。

以 上

【会議時間外での出席者発言の備忘録】

大津ケ丘中学校からの説明

(1) 大津ケ丘中学校構内に現行の防災倉庫に加え、もう一基倉庫が設置される予定で、市担当部署から通知されている。倉庫保管物資がどのような内容かは未定。

(2) 国道16号線沿いの老人介護施設「あおいのさと」の施設利用者を避難が必要な際に大津ケ丘中学校に避難場所として受け入れることが決まった(今年4月の着任時に通知があったもの)。該施設は最大150名の入居が可能である。